

平成25年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課
 担当名：指定文化財保護担当
 内線：6981

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B106	民俗芸能公開事業			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	歴史と民俗の博物館費	
事業期間	平成22年度～平成27年度	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例 古典の日に関する法律	戦略項目		050101 文化芸術の振興			
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>地域の貴重な文化財である民俗芸能の継承・発展と県民への普及・啓発を図るため、民俗芸能団体から代表的なものを集め、民俗芸能公開事業を開催する。</p> <p>また、平成24年9月5日に「古典の日に関する法律」が施行され、11月1日が「古典の日」として定められたことから、「古典の日」にあわせた記念事業として実施する。</p> <p>(1) 民俗芸能公開事業 1,925千円 (2) 関東ブロック民俗芸能大会関連事業 356千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 民俗芸能公開事業 1,925千円 イ 関東ブロック民俗芸能大会関連事業 356千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 民俗芸能公開事業 県内所在の国・県指定民俗文化財保存団体等による公演及び伝承教室 イ 関東ブロック民俗芸能大会関連事業 関東ブロック民俗芸能大会(開催地：静岡県)への出演団体の派遣</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 民俗芸能保存団体の技術の熟練や後継意欲の増進 イ 県民が民俗芸能を鑑賞・体験する機会の提供 平成22年度：5団体 818人参加 平成23年度：4団体 816人参加</p> <p>(4) その他 【前年度からの変更点】 ア 民俗芸能公開事業を古典の日にあわせて実施することとした。 イ 古典についての関心と理解を深めてもらうため、芸術文化に関するワークショップや講演会などと併せて開催することとした。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	2,281							2,281	169
前年額	2,112							2,112	